

# 予算特別委員会資料

## I 令和8年度 一般会計予算（環境局所管分）について

1 歳入予算額 .....	2 P
2 歳出予算額 .....	3 P
3 債務負担行為 .....	4 P

<b>参考</b> 環境局 令和8年度 主要事業 .....	5 P
--------------------------------	-----

## II 北九州市廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正 について

..... 14 P



環境局

# I 令和8年度 一般会計当初予算（環境局所管分）について

（議案第1号「令和8年度北九州市一般会計予算」のうち環境局所管分）

## 1 歳入予算額

（単位：千円）

款	項	目	節	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	増減額 (A) - (B)
17	1	4	1 環境使用料	2,091	2,088	3
	2	4	1 環境手数料	3,492,057	3,279,446	212,611
			産業廃棄物収集運搬業許可申請 等手数料	29,371	29,371	0
			ごみ処理手数料	3,412,470	3,200,985	211,485
			し尿処理手数料	50,216	49,090	1,126
18	2	4	1 環境費補助金（国）	2,826,113	1,356,581	1,469,532
	3	3	1 環境費委託金（国）	20,916	29,146	▲ 8,230
19	2	4	1 環境費補助金（県）	15,063	13,235	1,828
	3	4	1 環境費委託金（県）	307	391	▲ 84
20	1	1	1 土地貸付収入	21,448	21,790	▲ 342
		2	2 建物貸付収入	10,886	10,548	338
	2	1	1 利子及び配当金	7,250	0	7,250
	3	1	1 基金運用収入	936	31	905
	6	1	1 施設命名権収入	1,000	1,000	0
	2	2	1 物品売払収入	777	0	777
21	1	4	1 環境費寄附金	109,000	23,000	86,000
22	1	5	1 市民太陽光発電所特別会計繰入金	1,000	3,000	▲ 2,000
	2	4	1 環境保全基金繰入金	44,919	42,812	2,107
		15	1 SDGs 未来基金繰入金	13,000	5,000	8,000
24	1	1	3 環境費延滞金	10	10	0
	4	3	1 環境費受託事業収入	20,250	23,400	▲ 3,150
	6	4	16 環境費雑入	4,338,734	4,224,694	114,040
25	1	4	1 環境債	5,069,100	3,211,500	1,857,600
歳入合計				15,994,857	12,247,672	3,747,185

## 2 歳 出 予 算 額

(単位：千円)

款 項 目	令和8年度 当初予算額 (A)	令和7年度 当初予算額 (B)	増減額 (A) - (B)
5款 環 境 費	22,666,842	19,711,232	2,955,610
5 款 1 項 1 目 費 職 員	3,060,588	3,173,938	▲ 113,350
5 環 款 2 項 費	19,606,254	16,537,294	3,068,960
5 款 2 項 1 目 費 環 境 総 務	593,087	560,256	32,831
5 款 2 項 2 目 費 環 境 保 全	1,151,960	1,270,866	▲ 118,906
5 款 2 項 3 目 費 ご み 処 理	5,020,389	4,647,065	373,324
5 款 2 項 4 目 費 し 尿 処 理	342,775	324,892	17,883
5 款 2 項 5 目 費 工 場	5,557,475	5,629,955	▲ 72,480
5 款 2 項 6 目 費 環 境 施 設 建 設	6,940,568	4,104,260	2,836,308
歳 出 合 計	22,666,842	19,711,232	2,955,610

### 3 債務負担行為（当該年度提出に係る分）

（単位：千円）

事 項	限度額	当該年度以降の支出予定額		左の財源内訳		
		期 間	金 額	国県支出金	地方債	一般財源
不法投棄防止環境パトロール車リース経費	970	自 令和 9年度 至 令和10年度	970			970
大気汚染常時監視システム整備保守事業	103,100	自 令和 9年度 至 令和15年度	103,100			103,100
公用車における燃料電池自動車普及事業	6,400	自 令和 9年度 至 令和13年度	6,400			6,400
公用車リース経費（アジアカーボンニュートラルセンター）	3,200	自 令和 9年度 至 令和16年度	3,200			3,200
ごみ収集指定袋制及び分別等啓発実施事業	238,000	令和 9年度	238,000			238,000
ごみ収集指定袋制及び分別等啓発実施事業（保管配送）	113,200	自 令和 9年度 至 令和11年度	113,200			113,200
ごみ収集車両リース経費	3,200	自 令和 9年度 至 令和10年度	3,200			3,200
フックロール車リース経費	930	自 令和 9年度 至 令和10年度	930			930
公用車リース経費（焼却工場管理業務）	8,800	自 令和 9年度 至 令和14年度	8,800			8,800
本城資源化センター維持管理事業	307,000 ※	自 令和 9年度 至 令和29年度	307,000 ※			307,000 ※
皇后崎工場延命化事業	574,500	令和 9年度	574,500		430,600	143,900
本城資源化センター整備事業	188,000 ※	令和 9年度	188,000 ※			188,000 ※
新門司工場機器整備事業	136,100	令和 9年度	136,100		102,000	34,100
ごみ焼却施設適正化事業	12,500	令和 9年度	12,500	3,107		9,393
日明工場解体撤去事業	3,920,500 ※	自 令和 9年度 至 令和12年度	3,920,500 ※			3,920,500 ※

※ 当該金額に物価変動による増減額並びに当該増減額に係る消費税及び地方消費税並びに消費税及び地方消費税の税率の引上げによる増額分を加算した額

## 令和8年度 環境局予算の概要

環境局は、令和6年度に改定した「環境基本計画」の政策目標である

- ① 脱炭素(カーボンニュートラル)社会の実現
- ② 循環経済(サーキュラーエコノミー)システムの構築
- ③ 生物多様性の増進(ネイチャーポジティブ)と環境保全の推進

などについて、**環境と経済の両立を目指した取組み**をさらに強めつつ、北九州市の強みである「**環境**」を暮らしの中の様々な場面で実感できる取組みや**部局横断的な連携**を進め「**世界をリードするサステナブルシティ**」を目指します。

## 3本の柱(CN/CE/NP)の強化

政策目標	取組みの方向性
① <b>カーボンニュートラル</b> 脱炭素社会の実現	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エネルギーの脱炭素化</li> <li>・脱炭素型ライフスタイルの推進 等</li> </ul>
② <b>サーキュラーエコノミー</b> 循環経済システムの構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭ごみ/事業系ごみの減量リサイクルの推進</li> <li>・サーキュラーエコノミーの社会実装の推進 等</li> </ul>
③ <b>ネイチャーポジティブ</b> 生物多様性増進と環境保全推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生物多様性の適切な保全と回復</li> <li>・自然を活用した多様な課題解決 等</li> </ul>
<div style="background-color: #4a7ebb; color: white; padding: 5px; display: inline-block; margin: 0 auto;">下 支 え</div> 市民の力でまちの環境力を高める	

### R8年度の具体的取組 (主な予算事務事業)

- ペロブスカイト太陽電池導入拡大事業(79,500千円)
- 環境配慮型ライフスタイルへの転換に向けた広報啓発事業(10,000千円)
- 電動車普及啓発発信事業～つながる！電気とクルマと暮らし展～(3,000千円)
- 水素拠点化推進事業(22,000千円)
- クリーンタウンプロジェクト(まち美化)関連事業  
・ごみステーション対策グレードアップ事業(56,000千円)  
・クリーンタウン推進事業(3,000千円)  
・道路等清掃業務委託事業(3,000千円)
- 事業系ごみ減量チャレンジ補助金事業(13,000千円)
- ネイチャーポジティブ推進重点モデル地区事業(3,000千円)
- サステナブルシティを目指した環境学習施設の展示改修検討事業(13,000千円)
- 海外環境企業連携促進事業(10,000千円)
- Kitakyushu環境びと発掘・活躍支援事業(3,200千円)
- 不法投棄市民通報システム構築事業(1,270千円)

○「環境」を暮らしの中で実感できる取組み  
○部局横断的な連携

#### 「環境配慮型ライフスタイルに転換！」

LINE等を活用した「行動変容」  
環境配慮行動を促すショート動画の作成

#### 「環境×地域＋実感」

地域に根差した「新ごみステーション」の構築  
官民連携して「クリーンタウン北九州」を実現

#### 「環境×人材育成×観光」

モデル地区(小倉南区)でのネイチャーポジティブ  
人材育成&観光誘客

#### 「環境施設のアップグレード」

・環境3施設の連携による価値創造  
・ターゲットや機能分担等の明確化

#### 「環境×シニア」

これまでのキャリアを「環境」で活かす

## 「カーボンニュートラル」脱炭素社会の実現

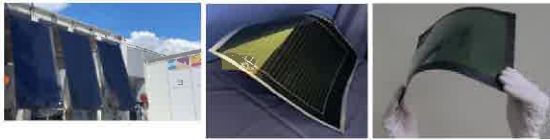
### 新規 ペロブスカイト太陽電池導入拡大事業

【 80百万円 】

#### 【事業概要】

軽量・柔軟などの特徴を有するペロブスカイト太陽電池について、環境省の補助金「ペロブスカイト太陽電池の社会実装モデル創出に向けた導入支援事業」を活用して、これまで太陽電池が設置困難であった公共施設等に設置を進め、再エネ導入拡大を積極的に推進する。

#### ペロブスカイト太陽電池 イメージ



出典：積水化学工業（株） 出典：（株）エネコトテクノロジーズ 出典：（株）東芝

資源エネルギー庁「次世代型太陽電池戦略」より



ペロブスカイト太陽電池の展開(イメージ)

### 新規 環境配慮型ライフスタイルへの転換に向けた広報啓発事業

【 10百万円 】

#### 【事業概要】

市民に対し、自発的な環境配慮行動の実践に繋げ、環境配慮型ライフスタイルへの行動変容を促進するため、各人の行動実施をポイントにより見える化できる「ていたんポイント(市公式LINEと連携予定)」をプラットフォームとして活用し、環境局全体で連携して一元的に環境配慮行動の習慣(継続)化を図る仕掛けを展開する。

ショート動画・SNS広告で  
行動の気づき・  
無関心層の行動促進

登録者10万人を超える  
市公式LINEと連携予定の  
「ていたんポイント」で  
行動の見える化  
(ポイント+CO2削減量)

ポイント獲得者に抽選で  
景品(グッズ、体験)を提供

### 新規 電動車普及啓発発信事業～つながる！電気とクルマと暮らし展～

【 3百万円 】

#### 【事業概要】

再生可能エネルギーを活用した持続可能なモビリティ(EV・PHEV)と住宅(太陽光・蓄電池・V2H)を一体的にPRし、市民の「経済性」「防災性」「環境配慮性」への理解と関心を高める。また、業界を跨いだ企業等との連携による信頼性の高い情報発信を通じて、EV・PHEV普及を加速させる。



### 拡充 水素拠点化推進事業

【 22百万円 】

#### 【事業概要】

市内で水素の利活用を検討する事業者に対して、検討フェーズごとの支援を行い投資を促進することで水素拠点形成を推進し、地元企業の脱炭素化と国際競争力強化、市内への新たな産業集積につなげるとともに、市内外へ水素拠点化の取組みを発信する。

クリーンタウンプロジェクト(まち美化)関連事業

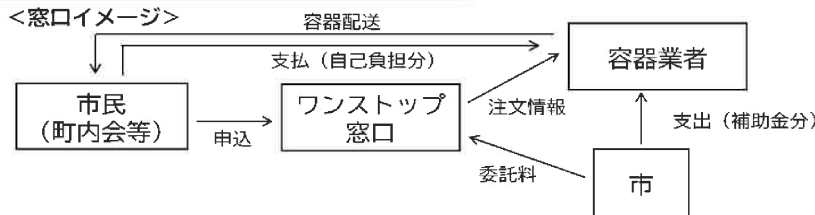
**新規** ごみステーション対策グレードアップ事業

【 56百万円 】

【事業概要】

市民が「管理しやすいごみステーション」を目指し、民間の力も活用しながら、折り畳み式容器普及促進、地域のごみステーション管理に対する支援の充実を図り、ごみステーション散乱防止対策に取り組む。

**ワンストップ窓口の設置**



折り畳み式簡易集積容器

**新規** クリーンタウン推進事業

【 3百万円 】

**拡充** 道路等清掃業務委託事業【拡充】

【 3百万円 】

【事業概要】

「ごみ拾い×楽しさ」で新たな層を巻き込む官民連携イベントや「まちの玄関口」である小倉駅周辺地区の集中清掃等を展開するとともに、地域や団体が取り組んでいるまち美化活動を「見える化」するなどして、「クリーンタウン北九州」を実現する。



地域や団体と連携したまち美化活動



小倉駅周辺地区街路を集中清掃

**新規** 事業系ごみ減量チャレンジ補助金事業

【 13百万円 】

【事業概要】

事業者による主体的なごみの減量やリサイクルにつながる職場改良や商品購入に対する補助金を創設。これにより、事業者の行動変容を促し、事業系ごみ量の削減および資源循環の推進を図る。

【イメージ】



事務所・店舗等の整備費



ごみ保管庫(物置)やシュレッダー等の購入費



## 「ネイチャーポジティブ」生物多様性増進と環境保全推進

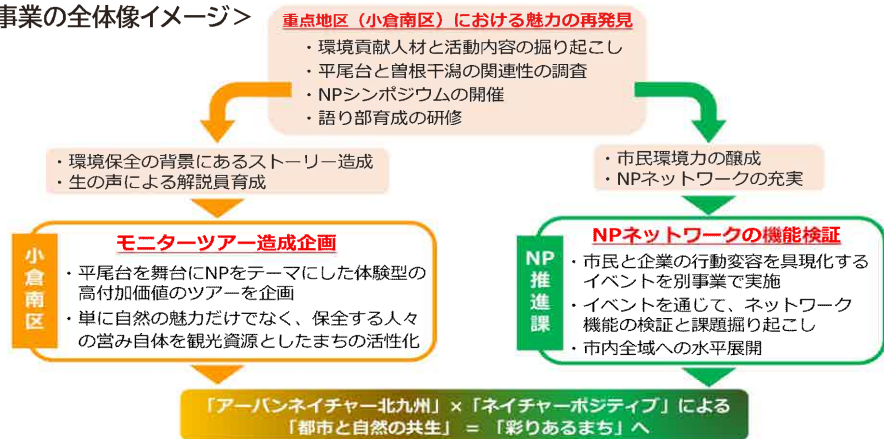
### 新規 ネイチャーポジティブ推進重点モデル地区事業

【 3百万円 】

#### 【事業概要】

豊かな自然に彩られたまちを実現するため、小倉南区をネイチャーポジティブ推進重点モデル地区とし、小倉南区の自然環境の美しさや保全する人々の活動という魅力を再発見する。その内容をベースとして、環境局では令和7年度に構築した産官学民の連携によるネイチャーポジティブネットワークの機能を検証し、小倉南区ではネイチャーポジティブをテーマにした体験型のモニターツアー企画を実施することで、地域全体で自然と共生するまちづくりを推進する。

<事業の全体像イメージ>



## 「市民の力でまちの環境力を高める」

### 新規 サステナブルシティを目指した環境学習施設の展示改修検討事業

【 13百万円 】

#### 【事業概要】

環境配慮型の行動変容や環境人材の育成を通じてサステナブルシティを市民とともに創造するとともに、観光・視察等の需要喚起を図るため、環境学習3施設の連携により創造される付加価値、ターゲットや機能分担等の明確化、必要な役割・機能の整理を踏まえた展示改修等の方向性を検討する。



タカミヤ環境ミュージアム



北九州市響灘ビオトープ



北九州市エコタウンセンター

### 新規 海外環境企業連携促進事業

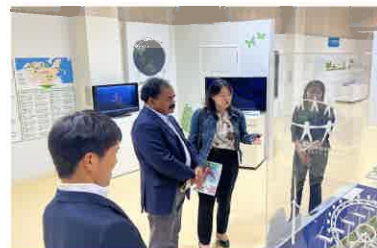
【 10百万円 】

#### 【事業概要】

市内企業等と海外環境関連企業との連携を促進し、新たなビジネスを創出することを目的として、現地ニーズ調査や関係機関等との協議、また国内招聘等を行うことで、連携候補先の調査や市内企業等とのマッチング支援等を実施する。



海外での協議



北九州市エコタウンセンター視察



市内企業による説明

## 新規 Kitakyushu環境びと発掘・活躍支援事業

【 3百万円 】

### 【事業概要】

市民の環境分野における活躍を支援することを目的として、これまで培ったキャリアや社会貢献意欲を北九州市の環境国際協力や環境学習に活かしたい、役に立てたいと志す市民を対象に、本市の環境分野の取組を広く発信する人材として活動できるように、セミナーや講座などを開催する。



市内でのごみ収集現場の視察



国際技術協力研修



環境学習

## 新規 不法投棄市民通報システム構築事業

【 1百万円 】

### 【事業概要】

社会情勢の変化による、不法投棄の巧妙化に対応し、より状況に応じたきめ細やかな不法投棄防止対策を講じるため、監視カメラやパトロールといった従来の取組みに加え、市民がスマートフォンから不法投棄場所を通報できる情報提供システムを構築し、的確に対応することにより、「安らぐまち」の実現に寄与する。

